

東北次世代がんプロ養成プラン

第13回 冬のがん薬物療法セミナー

報告書

日時：令和1年11月30日（土）

場所：TKP ガーデンシティ仙台駅北 ANNEX

令和1年12月11日

目 次

■ 報告書	1
■ ポスター	2
■ アンケート	3
■ 写真	6

第13回 冬のがん薬物療法セミナー報告書

東北次世代がんプロ養成プラン教育事業の一環として、令和1年11月30日(土)、「第13回冬のがん薬物療法セミナー」を実施した。本セミナーでは、本学腫瘍内科の専門医が最新のがんゲノム医療を含めた臨床腫瘍学の基本とトピックスを講義した。また、大阪大学大学院医学系研究科 免疫制御学の竹田潔教授に「腸内細菌と疾患の関わり」という演題で、特別講演を行っていただいた。また、教員・受講生間の交流を促進し、東北次世代がんプロ養成プランの事業を推進させた。受講対象は、東北次世代がんプロ養成プラン、東北大学大学院医学系研究科の腫瘍専門医コース（がん薬物療法）への入学が来年度に予定されているか、将来入学を希望する初期・後期研修医、医学部学生、または日本臨床腫瘍学会のがん薬物療法専門医の認定資格を目指す若手医師である。

本セミナーは、文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」事業 東北がんプロフェッショナル養成推進プラン採択後より開始され、毎年1回、冬期に開催しており、その13回目である。

【成果】

今回の参加者は日本全国の病院から研修医15名、東北大学医学系研究科大学院生6名、東北大学医学部学生2名の合計23名であった。講義は当院腫瘍内科の医師により、がん薬物療法の最近のトピックスであるがんゲノム医療について、また腫瘍内科の魅力についておこなった。また、特別講演は大阪大学大学院医学系研究科 免疫制御学の竹田潔教授に「腸内細菌と疾患の関わり」について講演していただいた。腸内細菌叢と免疫の関係はがん化、がん免疫療法と深く関わりのある分野であり、この分野に関する世界一流の研究者による講義を加えることによって、このセミナーのアカデミックながん研究の魅力を伝えるプログラムを組むことができた。

また、セミナー終了後にアンケート集計を行ったところ、参加者の12名は「ためになった」と回答しており、教育セミナーとして極めて有益であった。（アンケート結果は別紙参照）

【今後の計画】

本セミナーのアンケート調査を基に来年度以降のプランを検討する予定であるが、本セミナーは若手医師への最新の「がん医療」の紹介の場として、上記のように参加者の評価も極めて高い。『がんプロ』は将来のがん治療を指導する医師の育成を目標としたプランであり、教育事業の一環としての本セミナーは今後も引き続き行っていきたいと考えている。

主催/東北次世代がんプロ養成プラン
共催/NPO法人 東北臨床腫瘍研究会

第13回

冬のがん薬物療法セミナー

初期・後期研修医、若手医師、医学部学生に、
臨床腫瘍学の基本とトピックを、がん薬物療法分野を中心に講義する。
また、教員・受講生間の交流を促進し、東北次世代がんプロ養成プランの事業を推進します。



2019年

開催日/ **11/30** 土 13:00~18:20

会場/TKPガーデンシティ仙台駅北 ANNEX
カンファレンスルーム7A (仙台駅北部名掛丁自由通路直結)
仙台市宮城野区名掛丁201-2 TKP仙台駅北ビル7F (アバホテル別棟)

受講者定員
20名

参加費
無料
(事前申込制)

遠方からの参加者に
交通費・宿泊費の
補助あり

《受講対象》

研修医・若手医師・学部学生など

腫瘍内科に興味がある方

または東北大学大学院医学系研究科・腫瘍専門医コース(次世代腫瘍内科医)への
入学が来年度に予定されているか、または将来入学を希望する初期・後期研修医

Program

午前中 施設見学会
(希望者のみ)

* 東北大学病院
(腫瘍内科病棟・外来・
化学療法センター)

* 研究室・実験室
(東北大学加齢医学研究所
臨床腫瘍学分野)

13:00~18:20 冬のがん薬物療法セミナー

講義1 一腫瘍内科医の歩みとそこで得た教訓

講師/大内 康太 東北大学病院 がんセンター 助教

講義2 がんゲノム医療の進展

講師/小峰 啓吾 東北大学病院 腫瘍内科 助教

症例検討会 小グループに分かれて、症例検討会を行います

特別講演 腸内細菌と疾患の関わり

講師/竹田 潔
大阪大学大学院医学系研究科 免疫制御学 教授

お申込
受付 **11/21** 木 まで

期日以降の場合は、電話(022-717-7087)でお問い合わせください。

お申込
方法 裏面の申込用紙に必要事項を記入の上、ファックスまたはEメールにて
お申し込みください。HPにも申込用紙を掲載しています。

「東北がんプロ」ホームページ
<http://www.ganpro.med.tohoku.ac.jp>

お問い合わせ 東北次世代がんプロ養成プラン事務局

〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町2-1
東北大学大学院医学系研究科 地域がん医療推進センター
TEL:022-717-7087 FAX:022-717-7896
E-mail:ganpro@med.tohoku.ac.jp



受講者アンケート結果

1. 講義について

知識レベルの難易度					
	易しい	やや易しい	普通	やや難しい	難しい
講義 1	2	3	5	2	1
講義 2	2	3	4	4	
症例検討会	1	3	7	2	
特別講演	1		6	4	1

プレゼンテーションの分かりやすさ					
	易しい	やや易しい	普通	やや難しい	難しい
講義 1	1 1	1	1		
講義 2	1 1	1	1		
症例検討会	8	4	1		
特別講演	1 0	1	1		

2. セミナー開催の概要について

* セミナーについて何でお知りになりましたか	チラシ	3
	知人紹介	3
	がんプロ HP	2
	その他（職場上司からの紹介、など）	3
* セミナーの有効性について	とてもためになった	9
	ためになった	3
	どちらともいえない	1
	あまりためにならなかった	

*** セミナーに参加した理由を教えてください**

- 他施設の腫瘍内科医と交流したかった為。腸内細菌というトピックスに惹かれた為。他病院を見てみたかった為。
- 免疫に興味があり、城田先生に紹介していただきました。
- 緩和ケアなどエンドステージの患者さんの診療に関わりたいので、そのために抗がん剤の使用など知る必要があると思い参加しました。
- お誘いを受けた。学生時代お世話になった。
- がんゲノム医療に関する最新の知見について学びたい
- 将来的に消化器内科、血液内科とがん患者さんと多くかかわる方向に進むため、腫瘍内科としての考え方を学びたいと思いました。また、腸内細菌に非常に興味があり、竹田先生の講演を楽しみにしてまいりました。
- 東北大学腫瘍内科への入局を考えているため。
- 腫瘍内科に興味があったから。大阪大学の竹田教授の講演を聞きたかったから
- 私は大崎市民病院の研修医です。ちょうど腫瘍内科をローテさせて頂いている間に当セミナーについてお誘い頂いた為、今回参加させていただきました。
- 腫瘍内科の診療・研究について普段得られる情報が少なく、情報を得たかったから。
- 腫瘍内科を高次修練で検討しており、話を聞きたかったから。

*** 参加しての感想等をご自由にお書きください**

- 内容だけでなく、腫瘍内科医のレベルの高さなど大変勉強になり、刺激を受けることができた 1 日でした。研究のできる環境として大変うらやましい環境であると感じました。研究を本格的にやりたくなった際には東北大も大きな候補として考えさせていただきます。今回は遠方からの参加を快く受け入れて頂き誠にありがとうございました。
- とても勉強になる内容でした。最新のことも知ることができてとても良い経験になりました。
- 非常に高度な知識を要求されるレベルの高い勉強会で心がくじけそうになりました。研修 2 年目にローテートさせて頂きたいと思っておりますので、基本的なことは学んで研修し、少しでも先生たちの会話が理解できるように頑張りたいと思いました
- やや高度な内容でしたが、市中病院の研修では触れることのないアカデミックな内容を聞くことができ、将来のモチベーションになりました。
- とても分かり易く、大変勉強になりました。ありがとうございました。腸内細菌につ

いてのご講演もこれまで聞いたことのないお話で新鮮でした。

- 今までの考え方と異なり、臓器を超えた腫瘍学の考え方、トータルマネジメントの重要性を学び、明日からの診療に生かしていきたいと思いました。
- キャリアパス、東北大での取り組み、特別講演という組み合わせはバランスがとれていると思いました。
- 非常に専門性の高い、しかしそれでいて柔軟性のあるテーマを扱われていて興味深かったです。途中、参加者との症例検討会では、終始リラックスしながらも近しい年代の人達と意見交換でき印象に強く残っております。
- 半日盛沢山の内容で大変ありがとうございました。症例検討会が良かったです。もう少し休息があると助かります。
- 様々な興味深いお話が聞けて、とても参考になりました。症例検討では、他の先生方の考え方も学ぶことができ、本当に良い機会を与えていただいたと思っております。ありがとうございました。

特別講演「腸内細菌と疾患の関わり」

竹田 潔 先生（大阪大学大学院医学系研究科 免疫制御学）



講義1「一腫瘍内科医の歩みとそこで得た教訓」

大内 康太 先生（東北大学病院 がんセンター 助教）



講義2「がんゲノム医療の進展」

小峰 啓吾 先生（東北大学病院 腫瘍内科 助教）



症例検討会

